

みずしるべ

編集・発行
国土交通省中部地方整備局
新丸山ダム工事事務所

〒505-0301 岐阜県加茂郡八百津町八百津3351
ホームページアドレス http://www.cbr_mlit.go.jp/shinmaru/
メールアドレス shinmaru@mlit.go.jp
TEL0574-43-2780 FAX0574-43-3921

平成28年6月20日発行



2016
70



新丸山ダム建設促進期成同盟会

平成28年度新丸山ダム建設促進期成同盟会の通常総会が、5月31日（火）シティホテル美濃加茂で開催されました。今年度は総会に加えて現地視察が行われました。

通常総会で会長の藤井浩人美濃加茂市長は、「新丸山ダムは中部圏の総合的な治水の要となる。昨年の鬼怒川のような豪雨災害が発生する中、地域の安全と安心に繋がる新丸山ダム建設は三県の悲願である。本体着工に向けて事業の進捗を促進させていただけるよう、さらなる要望活動を強力に進めていく。」と挨拶されました。総会后、当事務所長から事業概要や効果の説明を行い、また午後からは、現地視察として、地元首長、地元選出の国会議員、県議会議員、及び木曽川流域に関わる行政関係者の方々に、丸山ダム展望台へ移動していただき、新丸山ダムの位置や高さ、転流工工事の概要などの説明を行いました。



藤井美濃加茂市長による挨拶



丸山ダム展望台での現地視察の様子

熊本地震 緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）

中部地方整備局は、4月16日から熊本県熊本地方を震源とする地震により被災した地方公共団体等の災害対応を支援するため、TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）を派遣しました。

当事務所からは、熊本県阿蘇郡南阿蘇村と西原村にそれぞれ1名を派遣し、南阿蘇村では、土砂災害に関する自治体からの問い合わせへ助言する「土砂災害対策アドバイザー班」の一員として、国土技術政策総合研究所や国立研究開発法人土木研究所の専門家と九州地方整備局の隊員とともに、5月2日から6日まで現地で活動しました。



現地調査状況（南阿蘇村）



現地調査状況（南阿蘇村）



現地調査状況（南阿蘇村）



現地調査状況（南阿蘇村）



土砂災害に関する助言状況（南阿蘇村）



テレビ取材への対応（南阿蘇村）

国と町との災害時における連携強化

●八百津町・御嵩町合同防災関係等会議の開催

4月22日（金）、当事務所は、八百津町や御嵩町において地震や台風などによる重大な災害が発生した場合に国と緊密な連携体制等を図ることを目的とする合同防災会議を開催しました。

会議では、町長と当事務所長が迅速に連絡が取り合える体制（ホットライン）の確認や、リエゾンの紹介の他、防災に関する情報交換を行いました。

また、両町の防災上の課題（八百津町：山崩れによる山間集落の孤立の可能性、御嵩町：亜炭鉱の崩落による地盤沈下の可能性）の情報共有を図るため今後、現地視察を実施することを決定しました。

※リエゾンとは、市町村の被災情報の収集や国が保有する災害対策資機材等の情報提供を行うために、中部地方整備局（当事務所）から派遣する情報連絡員です。



金子八百津町長の挨拶（合同防災会議）



新丸山ダム付替道路工事の視察（新小和沢橋）

現場見学を開催

●潮見小学校「ふるさと体験学習」

5月31日（火）、八百津町立潮見小学校全校児童10名と引率の先生8名を対象とした現場見学会をおこないました。木曾川に架かる工事施工中の「新小和沢橋(仮称)」の上に登り、ウルトラマンの身長とほぼ同じ地上約40メートル地点からドローンによる記念撮影をおこないました。また、丸山ダム管理所のモーターボートで湖面パトロールを体験、児童からは「普段行くことができない所へ行くことができて貴重な体験ができた。あの船が欲しい。」等の声が聞かれました。

当事務所では、現場見学会や防災等の出前講師は随時受け付けています。お気軽にお問い合わせ下さい。



トピックス

●五毛座歌舞伎（恵那市飯地町）

4月9日（土）、飯地町にある「五毛座」で地歌舞伎が上演されました。今回は、「笠周地域（笠置町、中野方町、飯地町）連携事業五毛座地歌舞伎公演」と銘打って、4つの演目が披露され、毎年敬老会の余興として行っている子どもたちによる歌舞伎も披露されました。五毛座歌舞伎は、飯地の郷土芸能として隔年の4月に行われています。



●八百津祭り（加茂郡八百津町）

4月9日（土）、10日（日）、かつて木曾川の水運で栄えた町の名残を現代に伝える「八百津祭り」が開催されました。10日には、船を形どっただんじり3台が役場前に集結し、大船神社に向かって町内を練り歩きました。江戸時代から続くこの祭りは、町民だけではなくイスラエルからの観光客など、大勢の観光客で賑わいました。



新丸山ダム工事実施箇所



＜工事の進捗状況 H28.5末 現在＞

＜県道井尻八百津線＞

1. 平成26年度
新丸山ダム井尻八百津線新小和沢橋PC上部工事
(株)IHインフラ建設 <工期> H29.3.8まで
2. 平成27年度
新丸山ダム井尻八百津線第2小和沢橋PC上部工事
(株)安部日鋼工業 <工期> H28.10.14まで



新小和沢橋上部工事



第2新小和沢橋上部工事

＜新丸山ダム仮設備＞

- I. 平成27年度新丸山ダム転流工進入路工事
小池土木(株) <工期> H28.8.19まで



転流工進入路工事



新ダム管理所敷地造成工事

＜新丸山ダム管理所＞

- a. 平成27年度新丸山ダム管理所敷地造成工事
曙開発(株) <工期> H28.6.30まで

※詳細については、当事務所ホームページをご覧ください。

「杉原千畝」ユネスコ記憶遺産申請

5月19日、八百津町は、昨年ユネスコ国内委員会に記憶遺産登録申請をし、同委員会で国内候補に決定されていた「杉原千畝の関連資料」を、岐阜県の協力を得て、文部科学省に、ユネスコ記憶遺産登録申請書（2017）を提出しました。

八百津町出身の杉原千畝（すぎはらちうね）は、第二次世界大戦中、リトアニアの日本領事館で外交官をしていました。ナチスの迫害から逃れるため、領事館へ押し寄せたユダヤ人の命を助けようと、外務本省の反対を押し切って「命のビザ」を発給し、およそ6,000人にのぼる避難民を救いました。

